



パズル道場 中級編テキスト 見本

この教材は『パズル道場』検定プログラムの抜粋版です



<中級編>

小学生～大人

- ① 3級 推理問題③ 3-① 25
- ② 1級 ビルはいくつ見える 3-① 26
- ③ 1級 ナンバープレイス 3-① 27
- ④ 6級 紙おり① 3-① 28
- ⑤ 6級 さいころコロコロ 3-① 29
- ⑥ 2級 はこ積み 3-① 30

①～③は、仮説思考力育成

④～⑥は、空間把握能力（イメージ化能力）育成



※検定の制限時間は5分

(1) ○の中に+か-を入れて式を完成させなさい。

$$13 \bigcirc 7 \bigcirc 10 \bigcirc 4 = 12$$

(2) 下の表のあいているところに整数を入れ、たてにたしても、横にたしても、ななめにたしても、それぞれの3つの数の和が同じになるようにしなさい。

		4
1		
	7	3

(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り

取り組みのポイント!!

(1)は、ああでもない、こうでもないといくらでも何度もねばり強くがんばりましょう。

(2)は、ああでもない、こうでもないといくらでも何度もねばり強く考えながら、あること(解き方)に気付かなければなりません。気付かなくても解けますが、気付くと簡単に解けるようになります。そのあることに気付けるかどうか、今回の最重要ポイントです。自分の力だけで発見できるまでがんばりましょう。



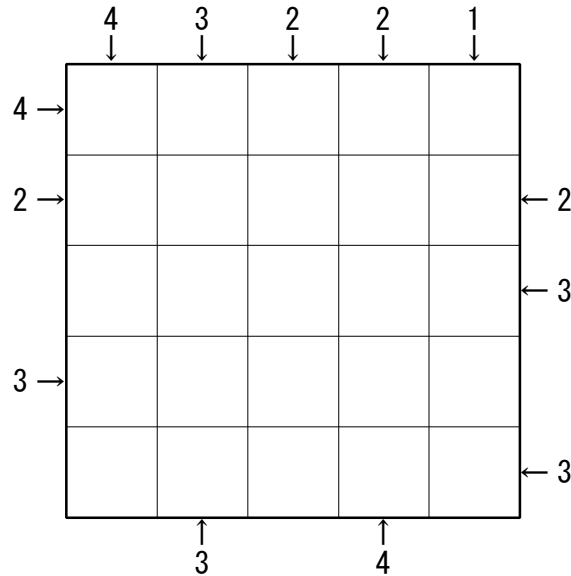
3	7	8
11	9	1
4	5	6

(2) - + - (1) 最難

天最パズル ビルはいくつ見える



※検定の制限時間は5分



ルール

- ①各マスは真上から見たビルを表します。
- ②すべてのマスに、そのビルの階数を表す数字を入れます。
- ③最も高いビルの階数は、各列のマスの数と同じです。たとえば、たて・横とも4列の場合、最も高いビルは4階建て、5列の場合は5階建て、6列の場合は6階建てになります。(この問題では最も高いビルは5階建てです。)
- ④矢印の数は、その方向から見たときに見えるビルの数を表しています。たとえば、 $\boxed{2} \boxed{1} \boxed{3} \boxed{4}$ とならんでいるときには、左から見ると3つ、右から見ると1つのビルが見えます。
- ⑤同じ列(たて・横とも)に同じ数は入りません。

解ければ天才!



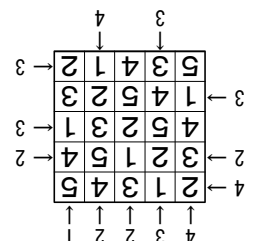
(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り



取り組みのポイント!!

なかなか正解にたどり着けない場合は、サポート教材の『ビルディング (別売)』や『カラーキューブ 64』、または、積み木を使って確認してください。





※検定の制限時間は5分

		5	9	8	7		3	6
3	9					8		2
8	7		4	3			1	
	3		7		8	6		
2	6	7		9			8	1
	5		3		1		4	7
5		3	6		9	1	2	
	4			1		5	6	
6		2	8	4				3

ルール

- ①空いたマスに1~9の数字を入れます。
- ②たて・横のそれぞれ9列に1~9が1回ずつ入ります。
- ③太線で囲まれた3×3の各ブロックにも、1~9が1回ずつ入ります。

解ければ天才!



(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

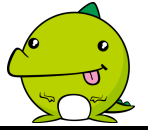
切り取り



取り組みのポイント!!

消しゴムのカスの山を作りながら、ああでもない、こうでもないと何度も何度もねばり強くがんばりましょう。

3	6	7	9	4	5	8	2	1	9
8	7	4	6	2	1	3	5	6	8
4	5	8	3	6	7	9	1	2	4
9	5	8	3	6	1	2	4	7	
2	6	7	5	9	4	3	8	1	
4	3	1	7	2	8	9	6	5	
8	7	6	4	3	2	9	1	5	
3	9	4	1	5	6	8	7	2	
1	2	5	9	8	7	4	3	6	



※検定の制限時間は5分

正方形の紙を、図のように点線を折り目にして折りました。この紙から斜線の部分を切り落として残った部分を広げると、どのような図形になりますか。答えのところに、切り落とした部分を斜線でかき入れなさい。(わからない場合は、折り紙を使って考えましょう。ただし、検定では折り紙は使えません。)

(1) 答え

(2) 答え

(3) 答え

(4) 答え

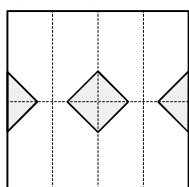
(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り

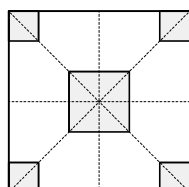


取り組みのポイント!!

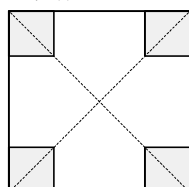
最終的には、頭の中だけで解けるようになりましょう。頭の中→実物→頭の中→実物→…のトレーニングを、実物(おり紙)を使っただけではなかなかできない場合は、作図を実物の代わりとしてかかせてください。



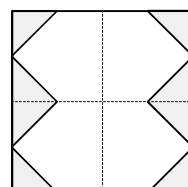
(4)



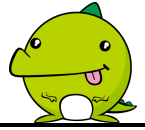
(3)



(2)



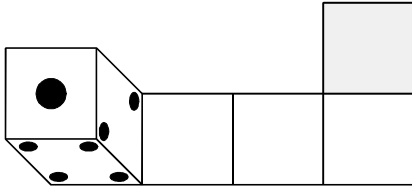
(1) 最難



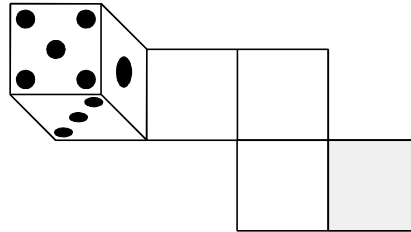
※検定の制限時間は5分

向かい合う面の和が7のさいころを、図のような位置から道にそって転がしていくと、斜線の位置では、さいころの上の面の数はいくつですか。

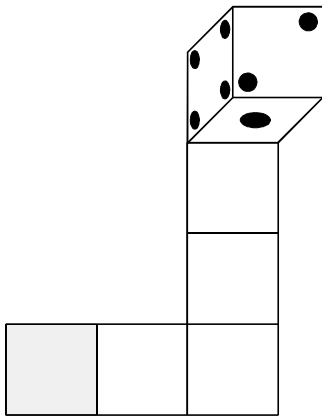
(1)



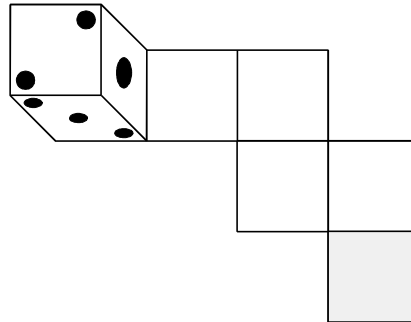
(2)



(3)



(4)



(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り



取り組みのポイント!!

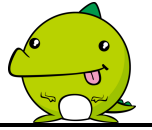
頭の中だけで解けるようになりましょう。今回も、いつものように、

頭の中→実物→頭の中→実物→…

をくり返して、イメージする力をレベルアップさせてください。

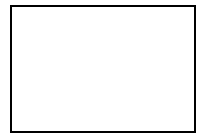
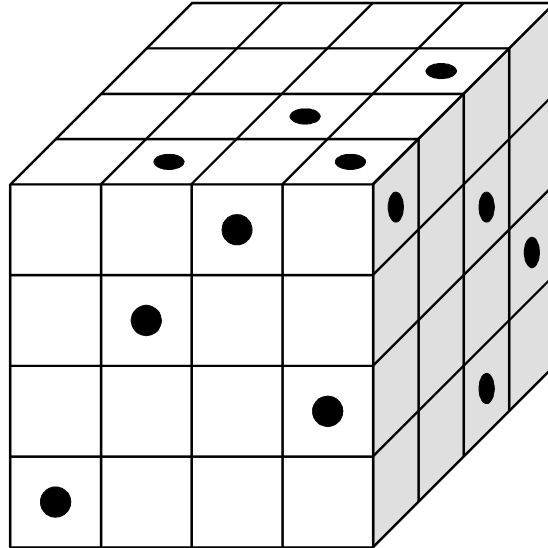
なお、さいころの数字の並び方には2通りあります。問題ごとにちがうので、2種類のさいころを使って問題に取り組んでください。

検定の前半のヤマであり、重要項目の1つです。ほとんどの人が長期間つまずきます。でも、つまずくことでセンスはレベルアップします。がんばってください。



※検定の制限時間は5分

64個の小さい立方体を積み重ねて、大きい立方体をつくり、この大きい立方体に向かい側までつきぬける穴を、黒丸(●)の位置からあけることにします。このとき、1つも穴のあいていない小さい立方体は何個できますか。



(注)この用紙は、持ち帰ることができません。

切り取り



取り組みのポイント!!

頭の中だけで解けるようになるトレーニングをします。中学入試等で使う作図をして解く方法を覚えても、センスはほとんど育成されませんので、注意してください。
ただし、頭の中→実物→頭の中→…をくり返し行う上で、実物を使うのは困難です。そこで、前述の作図をして解く方法を、実物の代わりに使ってください。
頭の中→実物(作図)→頭の中→実物(作図)→…
最終的には、頭の中だけで解けるようになりましょう。それをここでできるようにしないと、段に進んでからが大変です。